

松井建設が東京都中央区の本
社ビル敷地内に建設していた
「松井ビル別館」が完成した。
木造2階建て延べ174平方
の規模。準耐火75分を適用した
在来軸組み工法にCLT（直交
集成板）壁、床・屋根スラブを
組み合わせた。同社によると、
国内で初めての事例という。10
月31日に別館2階で竣工祭を開
き、役員らが出席して神事を
執り行った。



松井ビル別館外観

松井建設本社ビル別館竣工

所在地は新川1の17の22。建
物には監査部のオフィスやI
T研修室、打ち合わせ室などを
備える。同社に伝わる古い図面
などを保管する収蔵庫を設置し
ており、調湿機能など空調にも
こだわった。同社の設計・施工
工事期間は6月1日～11月4日
で、8日に供用する。

計画地は防火地域に指定され
ており、75分以上の耐火性能を

木造準耐火仕様

実現するため、一般の木造建築
より耐火被覆などを厚くし重く
なっている。木造建築事業を強
化している同社は、別館に取り
入れた技術をCLTの高耐力部
材などの適用実績として活用す
る。

カーボンニュートラル（CN）
への貢献として、使用した木材
に二酸化炭素（CO₂）換算で58
トンの炭素貯蔵能力を持たせた。
断熱サッシや複層ガラスなどを



松井社長（前列右から2人目）ら

採用し、建築物省エネルギー性
能表示制度（BELS）認証で
1次エネルギーを50%削減。
「ZEB（ネット・ゼロ・エネ
ルギー・ビル）Ready」を
取得した。

松井隆弘社長は「CNなどの
取り組みはもう当たり前だ。社
寺建築のノウハウがある当社は
木造建築と親和性が高く、取り
組みやすいところから社会に貢
献したい」と述べた。

